



2020年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月12日
上場取引所 東

上場会社名 星光PMC株式会社
 コード番号 4963 URL <https://www.seikopmc.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 滝沢 智
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 井内 秀樹 TEL 03-6202-7331
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第3四半期の連結業績（2020年1月1日～2020年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第3四半期	18,869	△9.0	1,658	△14.9	1,683	△14.2	1,066	△23.7
2019年12月期第3四半期	20,740	8.6	1,949	38.4	1,962	31.1	1,397	21.3

(注) 包括利益 2020年12月期第3四半期 1,151百万円 (△16.2%) 2019年12月期第3四半期 1,374百万円 (26.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第3四半期	35.16	—
2019年12月期第3四半期	46.10	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第3四半期	35,140	27,787	74.8
2019年12月期	36,225	27,136	71.2

(参考) 自己資本 2020年12月期第3四半期 26,272百万円 2019年12月期 25,776百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	8.00	—	8.00	16.00
2020年12月期	—	8.00	—	—	—
2020年12月期（予想）	—	—	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年12月期の連結業績予想（2020年1月1日～2020年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,700	△8.1	2,300	△17.6	2,330	△18.0	1,460	△25.6	48.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年12月期3Q	30,743,604株	2019年12月期	30,743,604株
② 期末自己株式数	2020年12月期3Q	422,275株	2019年12月期	422,243株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年12月期3Q	30,321,346株	2019年12月期3Q	30,321,361株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び当社の関係会社）が判断したものであります。

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、企業活動や個人消費が大きく落ち込むなど、景気は急激に悪化いたしました。緊急事態宣言の解除後は、国内経済に一部持ち直しの動きがみられるものの、新型コロナウイルス感染症の収束が依然として見通せない状況下で、世界経済に対する悪影響の長期化が危惧されるなど、極めて先行きが不透明な状況が継続しております。

当社グループの主要販売先におきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により製紙業界・印刷インキ業界の需要がともに前年から大きく減少するなど、非常に厳しい経営環境となりました。

当社グループは、高品質化・生産性の向上や環境保護・省資源等、販売先業界の経営戦略に対応した差別化商品を市場に投入し売上増加に努めましたが、当第3四半期連結累計期間の売上高は18,869百万円（前年同期比9.0%減）となりました。

利益面では、売上高の減少の影響などにより、営業利益は1,658百万円（前年同期比14.9%減）、経常利益は1,683百万円（前年同期比14.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,066百万円（前年同期比23.7%減）となりました。

セグメント別の経営成績は次の通りであります。

・製紙用薬品事業

製紙業界におきましては、当第3四半期連結累計期間の紙・板紙の国内生産は1,692万トンと前年同期比11.5%の大幅な減少でありました。当社グループは、国内市場、中国市場へ差別化商品の売上増加に努めましたが、日本国内、中国ともに売上が減少した結果、当事業の売上高は、10,912百万円（前年同期比14.0%減）となりました。

利益面では、売上高の減少の影響が大きく、セグメント利益は916百万円（前年同期比31.4%減）となりました。

・樹脂事業

印刷インキ業界におきましては、当第3四半期連結累計期間の印刷インキの国内生産は20万4千トンと前年同期比13.2%の大幅な減少でありました。当社グループにおいては、粘着剤の売上高は増加いたしました。印刷インキ用樹脂・記録材料用樹脂などの売上高が減少した結果、当事業の売上高は、4,872百万円（前年同期比5.6%減）となりました。

利益面では、売上原価の低減を図ったことなどにより、セグメント利益は547百万円（前年同期比3.0%増）となりました。

・化成品事業

化成品事業の売上高は、主力製品の輸出売上の増加などにより3,085百万円（前年同期比6.7%増）となりました。

利益面では、売上高が増加したことなどにより、セグメント利益は479百万円（前年同期比34.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における当社グループの財政状態は以下の通りとなりました。

(流動資産)

現金及び預金の増加、受取手形及び売掛金の減少、電子記録債権の減少、及び商品及び製品の減少などにより流動資産は20,058百万円(前連結会計年度末比1,779百万円減)となりました。

(固定資産)

有形固定資産の増加、退職給付に係る資産の増加、及び投資有価証券の減少などにより固定資産は15,081百万円(前連結会計年度末比694百万円増)となりました。

(流動負債)

支払手形及び買掛金の減少、賞与引当金の減少などにより流動負債は6,608百万円(前連結会計年度末比1,561百万円減)となりました。

(固定負債)

退職給付に係る負債の減少などにより固定負債は744百万円(前連結会計年度末比174百万円減)となりました。

(純資産)

親会社株主に帰属する四半期純利益の計上、剰余金の配当などにより純資産は27,787百万円(前連結会計年度末比650百万円増)となりました。その結果、当第3四半期連結会計期間末における自己資本比率は74.8%となりました。また、有利子負債残高1,439百万円を自己資本で除した倍率(D/Eレシオ)は0.05倍となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績につきましては、依然として新型コロナウイルス感染症の拡大の影響を受けているものの、第3四半期連結累計期間の業績が2020年8月7日公表の業績予想の想定を上回る状況で推移していることから、2020年12月期(2020年1月1日～2020年12月31日)の通期の連結業績予想を下記の通り修正いたします。

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	25,010	1,820	1,850	1,180	38 92
今回修正予想(B)	25,700	2,300	2,330	1,460	48 15
増減額(B-A)	690	480	480	280	
増減率(%)	2.8	26.4	25.9	23.7	
(ご参考)前期実績 (2019年12月期)	27,970	2,790	2,839	1,961	64 69

なお、業績予想は現時点で入手可能な情報に基づき、当社が判断したものであり、実際の業績等は様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,663,648	3,148,580
受取手形及び売掛金	10,916,857	8,130,756
電子記録債権	1,409,707	930,219
商品及び製品	2,437,503	2,205,199
仕掛品	356,563	445,842
原材料及び貯蔵品	1,077,577	1,110,093
短期貸付金	3,697,933	3,516,187
その他	289,859	585,555
貸倒引当金	△11,680	△13,501
流動資産合計	21,837,972	20,058,932
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,726,712	3,146,026
機械装置及び運搬具(純額)	2,441,244	2,367,002
土地	6,660,889	6,666,916
その他(純額)	980,307	1,216,430
有形固定資産合計	12,809,154	13,396,375
無形固定資産	72,090	65,852
投資その他の資産		
投資有価証券	964,335	818,956
退職給付に係る資産	—	152,788
その他	592,908	678,671
貸倒引当金	△51,002	△30,995
投資その他の資産合計	1,506,241	1,619,421
固定資産合計	14,387,486	15,081,649
資産合計	36,225,458	35,140,582

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,179,503	3,095,563
短期借入金	730,000	730,000
1年内返済予定の長期借入金	74,498	74,703
未払法人税等	388,018	208,661
賞与引当金	665,564	437,275
その他の引当金	—	59,100
その他	2,133,106	2,003,598
流動負債合計	8,170,691	6,608,902
固定負債		
長期借入金	689,375	635,241
役員退職慰労引当金	7,800	7,800
退職給付に係る負債	118,894	—
資産除去債務	88,940	86,645
その他	13,358	14,648
固定負債合計	918,368	744,335
負債合計	9,089,060	7,353,238
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,000,000	2,000,000
資本剰余金	1,576,265	1,576,265
利益剰余金	22,476,443	23,057,315
自己株式	△105,272	△105,298
株主資本合計	25,947,436	26,528,282
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	325,609	213,176
繰延ヘッジ損益	51	△161
為替換算調整勘定	68,640	23,098
退職給付に係る調整累計額	△565,255	△492,226
その他の包括利益累計額合計	△170,953	△256,112
非支配株主持分	1,359,916	1,515,174
純資産合計	27,136,398	27,787,344
負債純資産合計	36,225,458	35,140,582

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
売上高	20,740,512	18,869,611
売上原価	15,140,906	13,628,815
売上総利益	5,599,605	5,240,796
販売費及び一般管理費	3,650,341	3,582,678
営業利益	1,949,264	1,658,117
営業外収益		
受取利息	8,087	20,910
受取配当金	15,019	15,929
仕入割引	10,812	9,604
補助金収入	20,198	—
その他	42,219	42,217
営業外収益合計	96,336	88,661
営業外費用		
支払利息	9,875	9,179
売上割引	3,670	3,687
為替差損	65,477	41,438
その他	4,576	8,736
営業外費用合計	83,600	63,042
経常利益	1,962,000	1,683,736
特別利益		
固定資産売却益	142	—
負ののれん発生益	85,367	—
特別利益合計	85,510	—
特別損失		
固定資産売却損	—	380
固定資産除却損	17,971	9,823
投資有価証券評価損	—	7,866
減損損失	—	10,326
貸倒引当金繰入額	4,000	—
段階取得に係る差損	59,043	—
特別損失合計	81,014	28,396
税金等調整前四半期純利益	1,966,496	1,655,339
法人税、住民税及び事業税	495,013	443,962
法人税等調整額	△40,502	△19,949
法人税等合計	454,510	424,013
四半期純利益	1,511,986	1,231,325
非支配株主に帰属する四半期純利益	114,139	165,312
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,397,846	1,066,013

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	1,511,986	1,231,325
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△28,250	△112,433
繰延ヘッジ損益	1,205	△212
為替換算調整勘定	△170,609	△40,094
退職給付に係る調整額	59,686	73,029
その他の包括利益合計	△137,968	△79,711
四半期包括利益	1,374,017	1,151,614
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,308,805	980,854
非支配株主に係る四半期包括利益	65,212	170,760

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(会計上の見積り)

新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大に伴う国内外の景気の急激な悪化により、当社グループは売上高の減少などの影響を受けております。このような状況は、当連結会計年度末にかけて経済活動の再開に伴い徐々に回復していくものと仮定しており、当該仮定を固定資産の減損会計の適用及び繰延税金資産の回収可能性の判断などの会計上の見積りに反映しております。

この結果、新型コロナウイルス感染症の影響による会計上の見積りへの重要な影響はないと判断しております。

なお、当該見積りは現時点の最善の見積りであるものの、見積りに用いた仮定の不確実性は高く、上記の仮定に状況変化が生じた場合には当社グループの財政状態及び経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自2019年1月1日至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	製紙用 薬品事業	樹脂事業	化成品 事業	合計	調整額 (注)1. 2	四半期連結 損益計算書 計上額(注)3
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	12,687,837	5,161,150	2,891,524	20,740,512	—	20,740,512
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	81,607	458,227	16,455	556,289	△556,289	—
計	12,769,445	5,619,377	2,907,979	21,296,802	△556,289	20,740,512
セグメント利益	1,335,889	531,507	356,244	2,223,641	△274,377	1,949,264

(注) 1. 売上高の調整額△556,289千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益の調整額△274,377千円は、全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない研究開発費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

「樹脂事業」セグメントにおいて、当第1四半期連結会計期間に持分法適用会社の新綜工業股份有限公司の株式を追加取得し連結子会社としたことにより、負ののれん発生益85,367千円を計上しております。また、株式の追加取得時において段階取得に係る差損59,043千円を合わせて計上しております。

なお、当該負ののれん発生益等は報告セグメントには配分しておりません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2020年1月1日至2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	製紙用 薬品事業	樹脂事業	化成品 事業	合計	調整額 (注)1. 2	四半期連結 損益計算書 計上額(注)3
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	10,912,127	4,872,306	3,085,177	18,869,611	—	18,869,611
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	40,435	340,796	19,840	401,072	△401,072	—
計	10,952,563	5,213,102	3,105,018	19,270,684	△401,072	18,869,611
セグメント利益	916,828	547,543	479,372	1,943,744	△285,626	1,658,117

(注) 1. 売上高の調整額△401,072千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益の調整額△285,626千円は、全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない研究開発費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(単位:千円)

	製紙用薬品事業	樹脂事業	化成品事業	調整額	合計
減損損失	10,326	—	—	—	10,326